

だれでもできる 品質管理システム [アスファルト・土質]

目 次

□ 第 1 章 はじめに		□ 第 5 章 保存	
基本操作マニュアルの流れ	3	保存	39
□ 第 2 章 帳票の追加・管理		□ 第 6 章 出力	
帳票ブックの追加	7	出力	41
帳票ブックの管理	9		
□ 第 3 章 データ入力		□ 第 7 章 補足集 こんなときは	
設計値・規格値の入力	13	写真情報データベースに	
規格値の表示形式を確認	16	登録した写真を閲覧する場合	44
実測値の入力	17	作成した帳票ブックをユーザーテンプレート	
		として保存する場合	46
□ 第 4 章 帳票の編集		『電子納品支援システム』にデータを	
グラフの編集	31	転送する場合	48
帳票レイアウトの編集	35		

本書で使用しているマーク



注意

してはいけない事や注意していただきたい事です。
よく読み注意を守ってください。
場合によっては、作成したデータの消失などの可能性があります。



こんなときは

困った時の操作や説明のヒントが書かれています。



ポイント

大事な事や操作のヒントが書かれています。

ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製する事は禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更する事があります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

第1章

はじめに

本書「品質管理システム〔アスファルト・土質〕基本操作マニュアル」の流れについて説明します。

基本操作マニュアルの流れ

本書「品質管理システム〔アスファルト・土質〕基本操作マニュアル」の流れを説明します。

第 2 章 帳票の追加・管理

帳票ブックの追加

提出先の帳票を取り込みます。

7 ページ

帳票ブックの管理

管理しやすい名前に変更します。

9 ページ

第 3 章 データ入力

設計値・規格値の入力

測定項目の設計値・規格値を入力します。

13 ページ

規格値の表示形式を確認

規格値の表示形式を確認します。

16 ページ

実測値の入力

測定位置ごとに実測値を入力します。

17 ページ

第 4 章 帳票の編集

グラフの編集

グラフの種類・線色・線幅・設計値の表示位置を編集します。

31 ページ

帳票レイアウトの編集

帳票のレイアウトを編集します。

35 ページ

第 5 章 保存

保存

作成したデータを保存します。

39 ページ

第 6 章 出力

出力

印刷する帳票を選択し、印刷します。

41 ページ

第7章 補足集 こんなときは

第3章 データ入力

第5章 保存

第6章 出力

写真情報データベースに登録した写真を閲覧する場合

44 ページ

作成した帳票ブックを
ユーザーテンプレートとして保存する場合

46 ページ

『電子納品支援システム』にデータを転送する場合

48 ページ



設定・画面サイズについて



設定

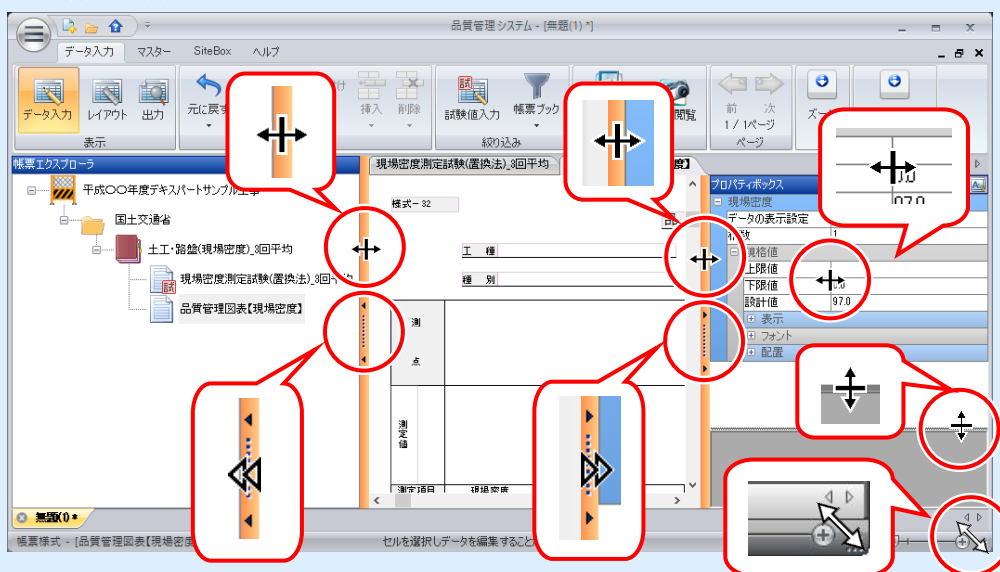
インストール直後の設定で説明しています。
既に使用している場合は、設定が異なる事があります。

画面サイズ

画面のサイズを変更して説明しています。
画面の表示領域や表示されている項目の幅・高さは変更する事が可能です。
項目の境目にマウスカーソルを移動すると、カーソルの形が変わります。

  ドラッグで変更してください。

  クリックで、表示領域の表示・非表示を切り替えてください。



第2章

帳票の追加・管理

『品質管理システム』を起動し、帳票を追加・管理します。

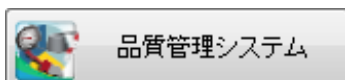
2-1	帳票ブックの追加	7
2-2	帳票ブックの管理	9

2-1 帳票ブックの追加

新規に工事を作成し、『品質管理システム』を起動します。
提出先の帳票を取り込みます。

1 『品質管理システム』を起動します

デキスパート基本部画面の【品質管理システム】ボタンをクリックします。



2 帳票ブックを取り込みます

1) 帳票ブックの追加画面が表示されます。

テンプレートの種類・提出先・帳票ブックを選択します。

帳票ブックの追加

① 確認
[国の機関]

テンプレートの種類: 国の機関

② 確認
[国土交通省]

提出先: 国土交通省

年度: 平成23年度

③ 確認
[平成 23 年度]

国土交通省

表紙・総括表・その他
+ 工・路盤(現場密度)

④ 選択
[アスファルト・土質]

土工・路盤(現場密度)_3回平均

土工・路盤(現場密度)_3回平均

土工・路盤(現場密度)_3回平均

アスファルト(装(平坦性))

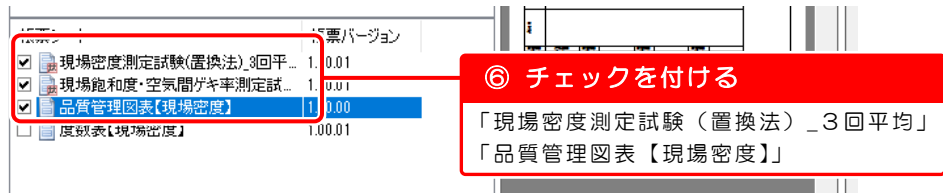
アスファルト(装(温度))

※ [コンクリート] をインストールしている場合は、選択してください。

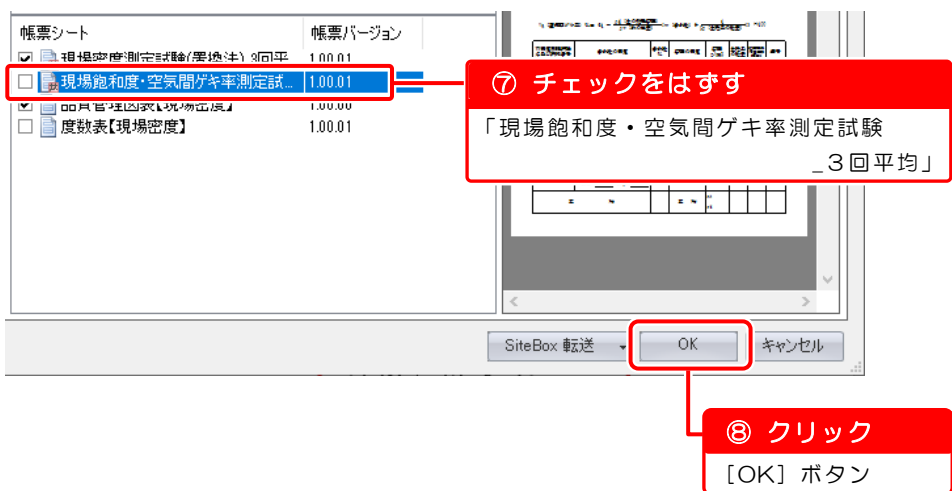
⑤ 選択(チェックは付けない)
「土工・路盤(現場密度)_3回平均」

2) 帳票シートを選択します。

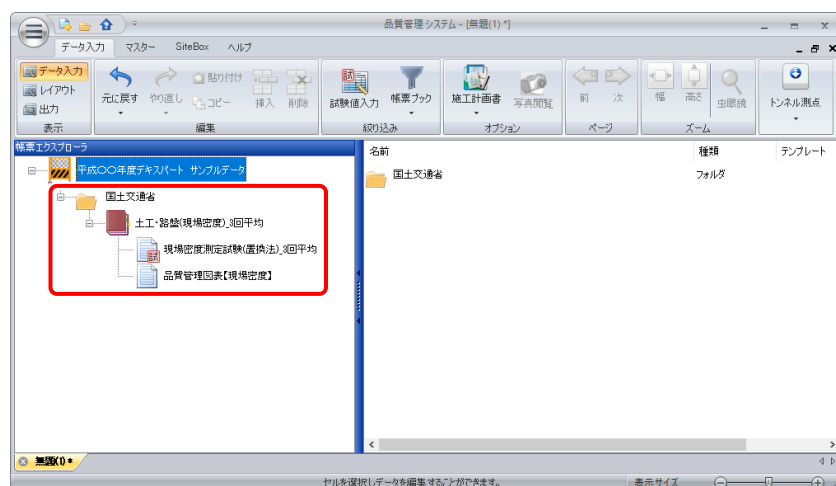
ここでは以下の帳票シートにチェックを付けます。



3) 「品質管理図表【現場密度】」にチェックを付けると、「現場飽和度・空気間ゲキ率測定試験」に自動でチェックが付くので、チェックをはずします。



4) メイン画面に帳票ブックが取り込まれました。

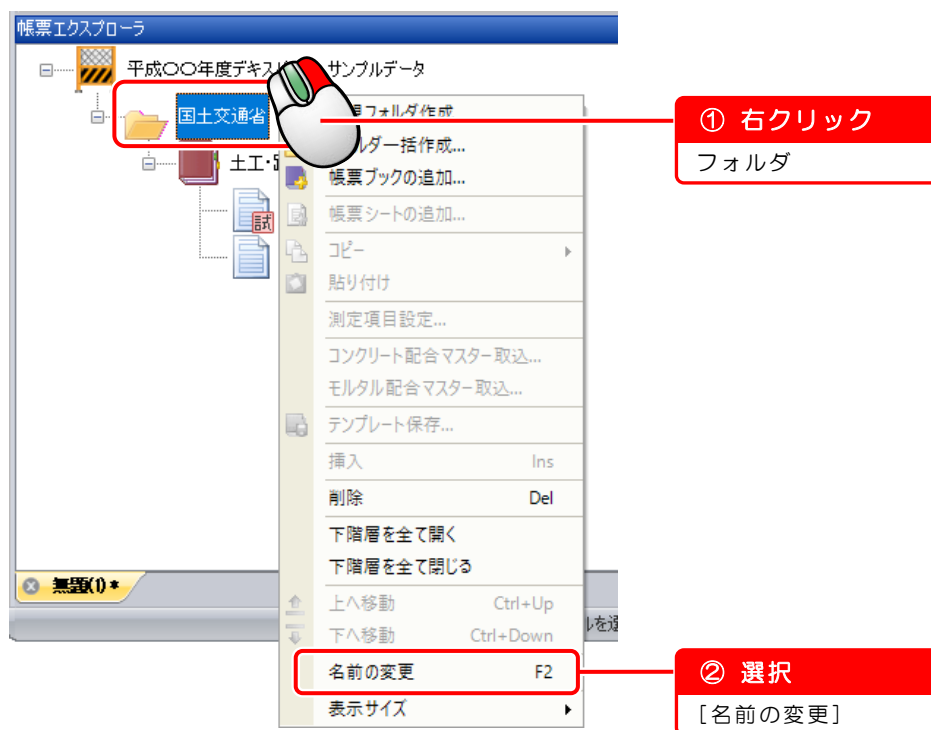


2-2 帳票ブックの管理

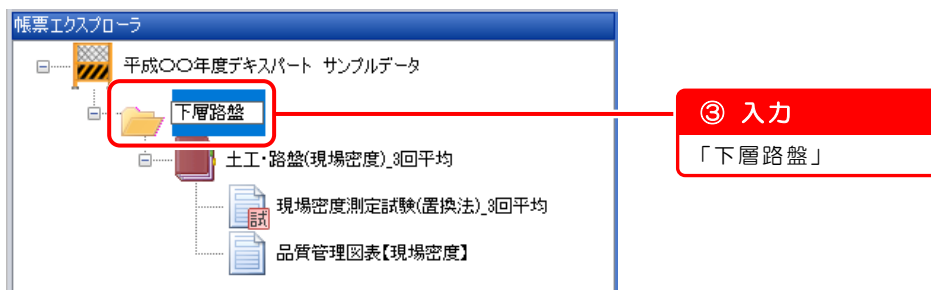
管理しやすい名前に変更します。

1 フォルダ名を変更します

1) フォルダを右クリックし、表示されるメニューから「名前の変更」を選択します。

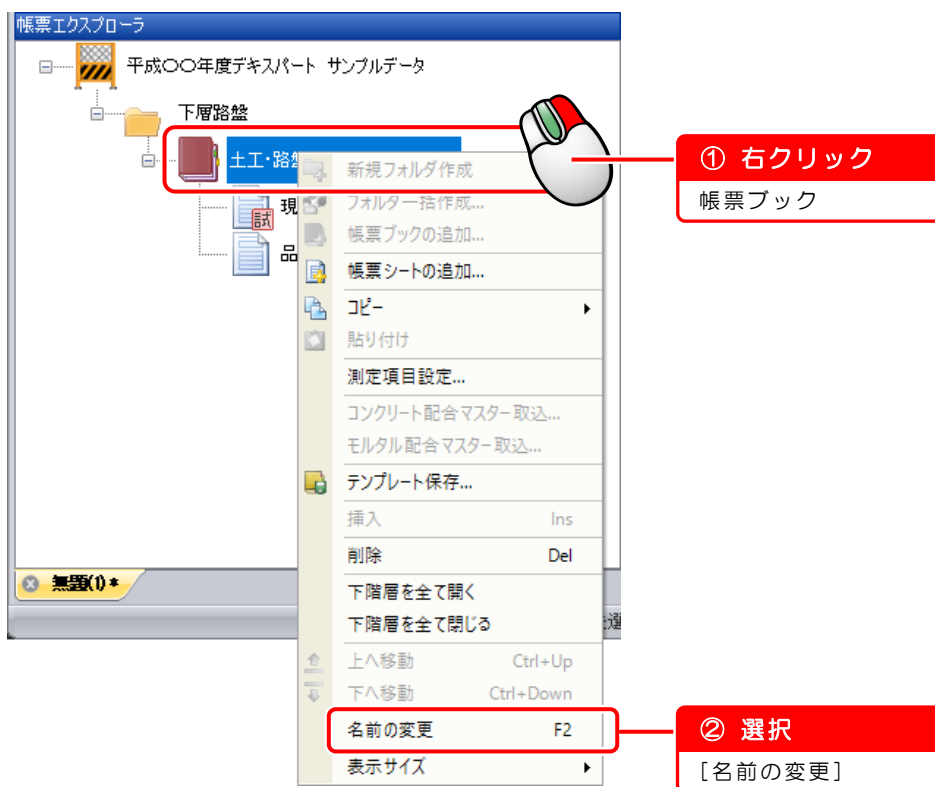


2) フォルダ名を入力します。

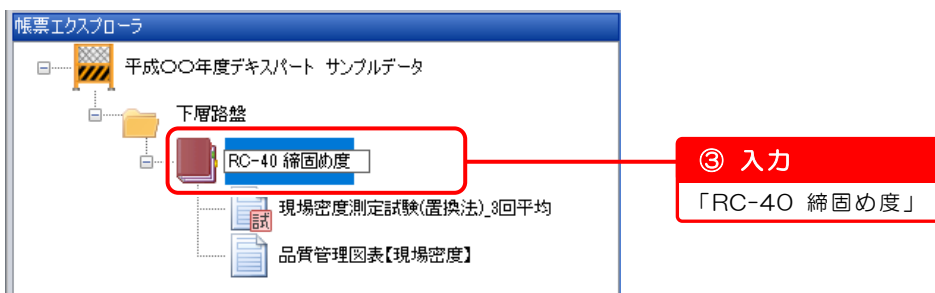


2 帳票ブック名を変更します

- 1) 帳票ブックを右クリックし、表示されるメニューから「名前の変更」を選択します。



- 2) 帳票ブック名を入力します。



以上で「第2章 帳票の追加・管理」は終了です。
引き続き「第3章 データ入力」にお進みください。

第3章

データ入力

設計値・規格値・実測値を入力します。

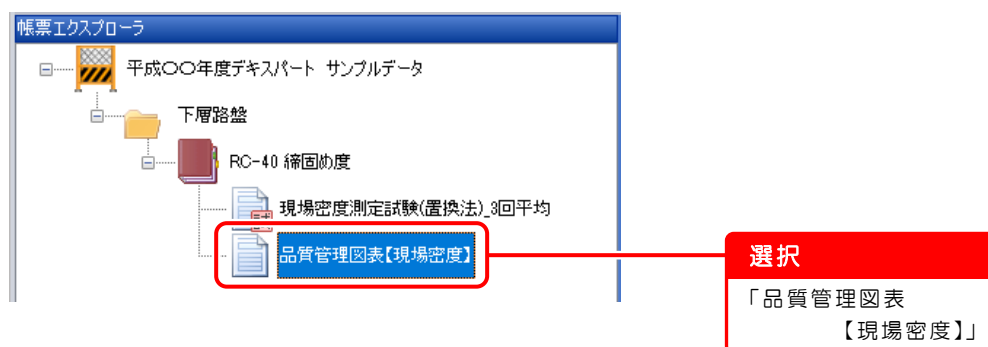
3-1	設計値・規格値の入力	13
3-2	規格値の表示形式を確認 . . .	16
3-3	実測値の入力	17

3-1 設計値・規格値の入力

測定項目の設計値・規格値を入力します。

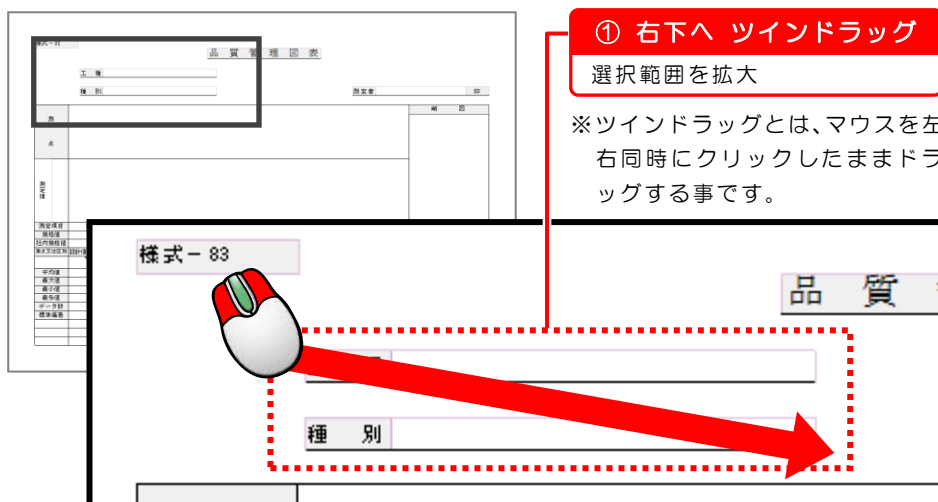
1 「管理図表」にデータを入力します

「品質管理図表【現場密度】」を表示します。



2 工種・測定者名を入力します

1) 表示された帳票を拡大します。



2) 工種欄を選択します。

品質

工種

種別

② 選択
[工種] 欄

3) 工種名を入力します。

品質

工種 下層路盤工 RC-40

種別

③ 入力
「下層路盤工 RC-40」

4) 画面を右へスクロールし、測定者名を入力します。

測定者 ○○○○

略図

④ スクロール

⑤ 入力

⚠ 注意

これ以降の手順では、画面の拡大やスクロールは省略します。
拡大やスクロールには複数の方法があります。
その他の方法については「ヘルプ」をご覧ください。

3 締固め度のデータを入力します

1) 測定項目名・設計値を入力します。

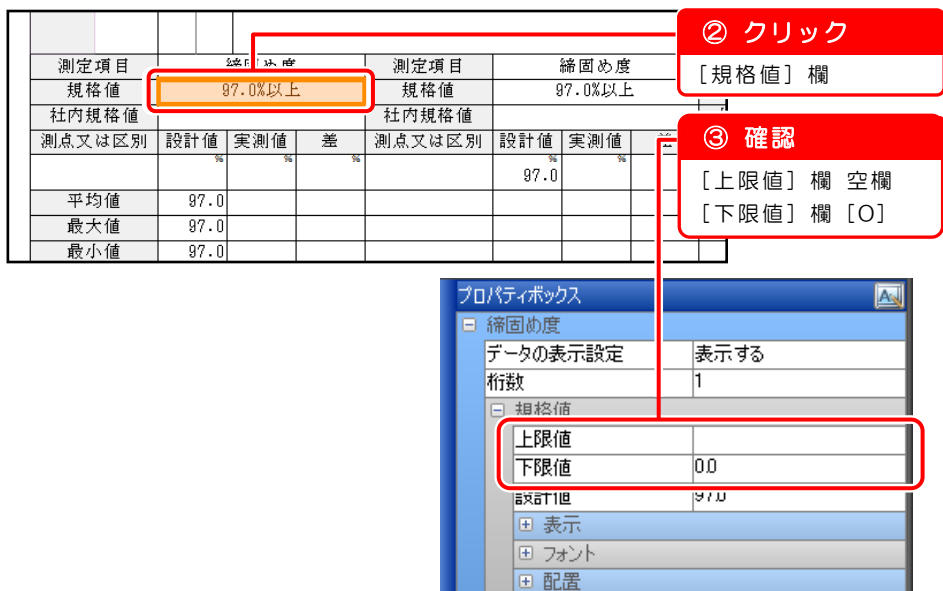


① 入力
下表のデータ

測定項目	締固め度
設計値	97

測定項目	規格値	締固め度	規格値
規格値	97.0%以上	規格値	97.0%以上
社内規格値		社内規格値	
測点又は区別	設計値	実測値	差
	%	%	%
平均値	97.0		
最大値	97.0		
最小値	97.0		

2) 規格値を確認します。



② クリック
[規格値] 欄

③ 確認
[上限値] 欄 空欄
[下限値] 欄 [0]

測定項目	規格値	締固め度	規格値
規格値	97.0%以上	規格値	97.0%以上
社内規格値		社内規格値	
測点又は区別	設計値	実測値	差
	%	%	%
平均値	97.0		
最大値	97.0		
最小値	97.0		

プロパティボックス

締固め度

データの表示設定 表示する

桁数 1

相対値

上限値

下限値 0.0

設計値 97.0

表示

フォント

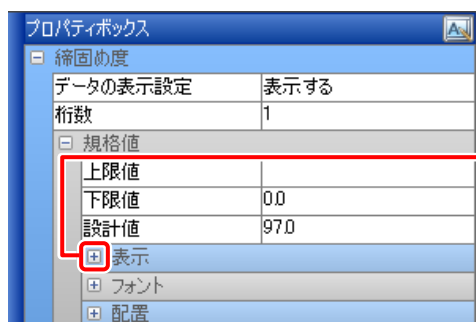
配置

3-2 規格値の表示形式を確認

規格値の表示形式を確認します。

規格値の範囲・数値の表示を確認します

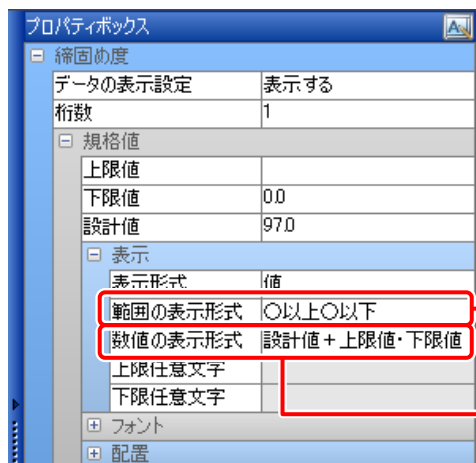
1) 画面右のプロパティボックスで、締固め度の規格値の範囲の表示を確認します。



① クリック

[+] ボタン

2) 範囲の表示形式と数値の表示形式を確認します。



② 確認

[○以上○以下]

③ 確認

[設計値+上限値・下限値]

3-3 実測値の入力

測定位置ごとに実測値を入力します。

1 「試験値入力シート」にデータを入力します

基本操作マニュアルでは「試験値入力シート」を使用しますが、品質管理図表【現場密度】に直接入力することもできます。

「試験値入力シート」について



「試」マークの付いたシートは、測定位置や実測値などの試験値をまとめて入力できるシートです。

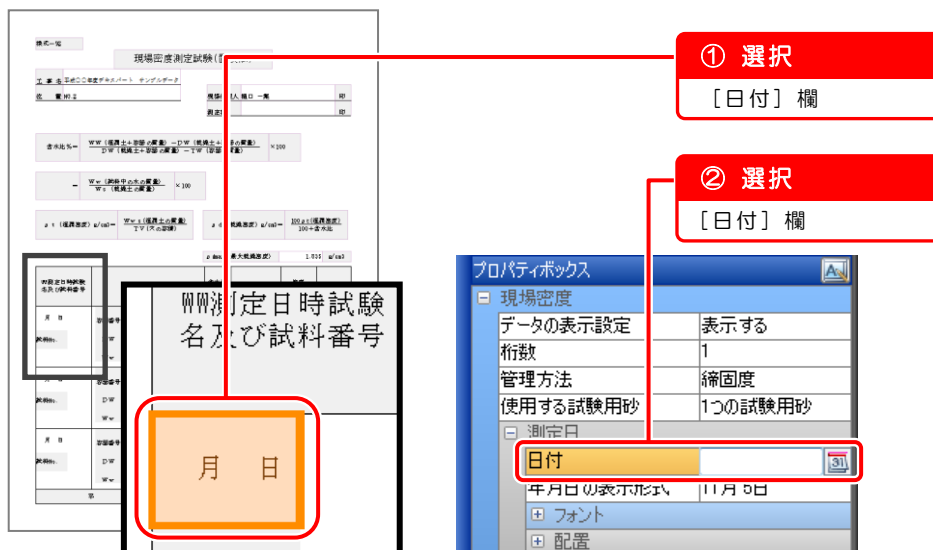
「現場密度測定試験（置換法）_3回平均」を表示します。

2 測定位置・ ρ_{dmax} （最大乾燥密度）を入力します

測定位置と ρ_{dmax} （最大乾燥密度）を入力します。

3 「試料 No.01」の試験情報を入力します

1) 測定日を入力します。



① 選択
[日付] 欄

② 選択
[日付] 欄

測定日時試験名及び試料番号

月 日

プロパティボックス

現場密度

データの表示設定 表示する

指数 1

管理方法 締固度

使用する試験用砂 1つの試験用砂

測定日

日付

年月日の表示形式 11月 10日

フォント

配置

2) [日付] ボタンをクリックし、カレンダーから [2011 年 11 月 10 日] を選択します。



③ クリック
[日付] ボタン

④ 選択
[2011 年 11 月 10 日]

プロパティボックス

現場密度

データの表示設定 表示する

指数 1

管理方法 締固度

使用する試験用砂 1つの試験用砂

測定日

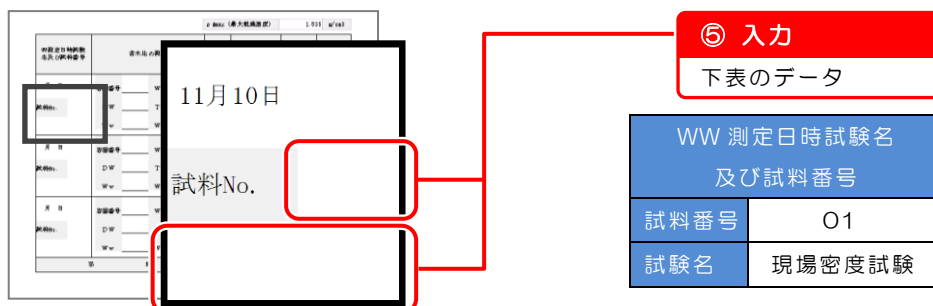
日付

年月日の表示形式 11月 10日

フォント

配置

3) 試料番号・試験名を入力します。



⑤ 入力
下表のデータ

WW 測定日時試験名
及び試料番号

試料番号	01
試験名	現場密度試験

11月10日

試料No.

4

1) 含水比の測定結果を入力します。

 入力

下表のデータ

含水比の測定

※自動で計算されます。

2) 含水比が計算されます。



5 締固め度を計算します

1) 湿潤土質量を計算します。

プロパティボックスで入力します。

① クリック
[湿潤土質量 Wws] 欄

② 入力
下表のデータ

湿潤土と容器の質量	3428
容器の質量	1196

プロパティボックス

現場密度

データの表示設定 表示する

桁数 1

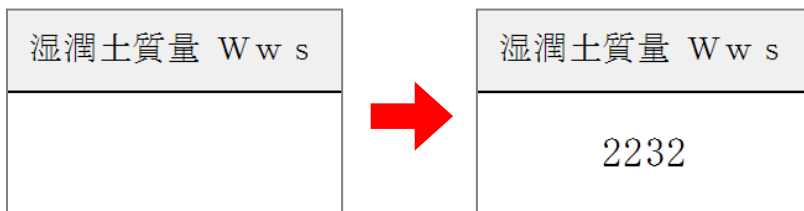
管理方法 締固め度

使用する試験用砂 1つの試験用砂

湿潤土と容器の質量 3428

容器の質量 1196

2) 湿潤土質量が計算されます。



3) 穴の容積を計算します。

③ クリック
[穴の容積 TV] 欄

④ 確認
1つの試験用砂

⑤ 入力
下表のデータ

試験用砂の密度	1,341
ローートを満たす砂の質量	1322
測定器に砂を満たした質量	8372
測定器に残った砂の質量	5523

穴の容積 TV

4) 穴の容積が計算されました。

穴の容積 TV

穴の容積 TV

1139

5) 「湿潤土質量」と「穴の容積」が計算されると、「 ρ_t (湿潤密度)」「 ρ_d (乾燥密度)」「締固度」も自動で計算されます。

入力前

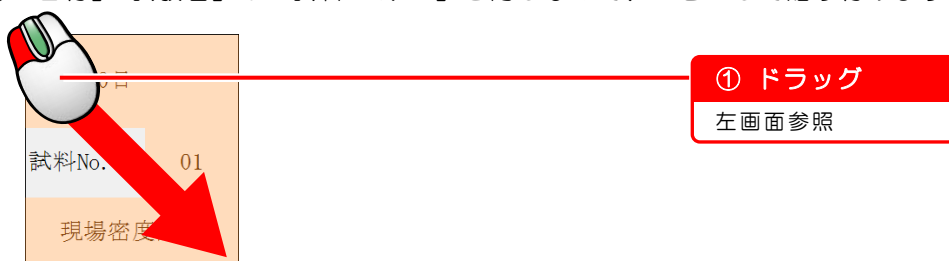
密度の測定	密度 g/cm ³	備考
湿潤土質量 W_{ws}	ρ_t	締固度
穴の容積 TV	ρ_d	

入力後

密度の測定	密度 g/cm ³	備考
湿潤土質量 W_{ws}	ρ_t	締固度
2232	1.960	
穴の容積 TV	ρ_d	締固度
1139	1.793	

6 「試料 No.02」の試験情報を入力します

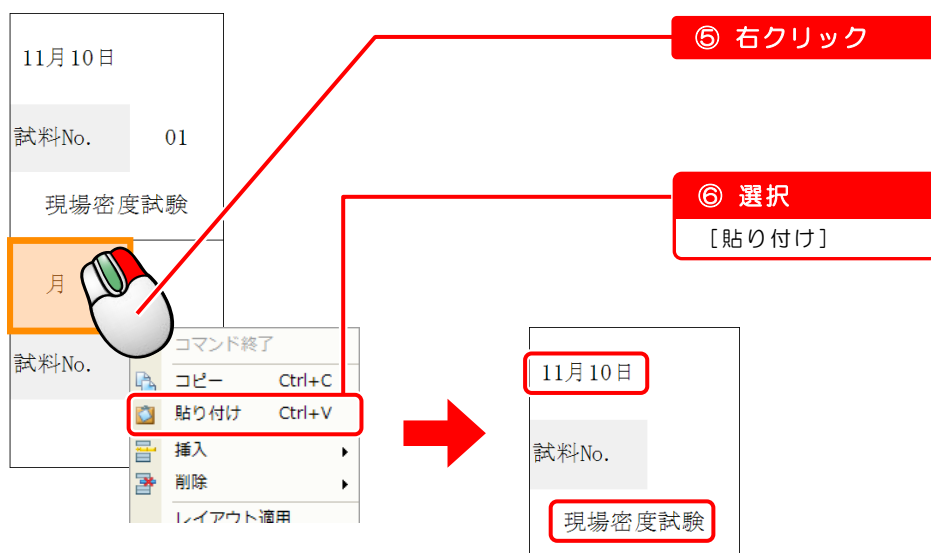
1) 「日付」「試験名」が「試料 No.01」と同じなので、コピーして貼り付けます。



2) 「日付」「試験名」以外の選択を解除し、コピーします。



3) 「日付」「試験名」を貼り付けます。



7 「試料 No.02」の測定結果を入力します

以下のデータを入力します。

WW 測定日時試験名 及び試料番号		含水比の測定			
日付	2011/11/10	容器番号	02	WW	1805
試料番号	02	DW	1728	TW	780
試験名	現場密度試験				

湿潤土質量 Wws		穴の容積 TV	
湿潤土と容器の質量	3493	試験用砂の密度	1.341
容器の質量	1213	ロートを満たす砂の質量	1322
		測定器に砂を満たした質量	7668
		測定器と残った砂の質量	4780

※使用する試験用砂を「1 つの試験用砂」に設定しているため、「試験用砂の密度」「ロートを満たす砂の質量」は、「試料 No.01」で入力した数値が反映されます。

11月10日					湿潤土質量 Wws	ρ_t	締固度
試料No.	02	容器番号	02	WW	1805	2280	1.952
		DW	1728	TW	780	穴の容積 TV	ρ_d
		Ww	77	Ws	948	1168	1.806

8 「試料 No.03」の測定結果を入力します

以下のデータを入力します。

WW 測定日時試験名 及び試料番号		含水比の測定			
日付	2011/11/10	容器番号	03	WW	1850
試料番号	03	DW	1760	TW	780
試験名	現場密度試験				

湿潤土質量 Wws		穴の容積 TV	
湿潤土と容器の質量	3476	試験用砂の密度	1.341
容器の質量	1209	ロートを満たす砂の質量	1322
		測定器に砂を満たした質量	6961
		測定器と残った砂の質量	4093

11月10日	容器番号	03	WW	1850	9.2	湿潤土質量 Wws	ρ_t	締固度
試料No. 03	DW	1760	TW	780		2267	1.966	
	現場密度試験	WW	90	Ws		穴の容積 TV	ρ_d	
						1153	1.800	

9 平均値を確認します

「試料 No.01」「試料 No.02」「試料 No.03」の平均値が、シートが一番下の欄に計算されるので確認します。

試験項目	容器番号	質量	容積	密度	容積	密度
11月10日	01	WW	1850	9.1	1.960	97.5%
11月10日	02	WW	1850	9.2	1.962	98.0%
11月10日	03	WW	1850	9.2	1.966	98.1%
平均値				9.1	1.961	97.8%

現場密度試験	WW	90	Ws	980		1153	1.800	
平均					8.9	平均	ρ_t 1.959 ρ_d 1.800	98.1%

10 測定位置「NO.4」の測定結果を入力します

1) 画面をスクロールして、新しいシートを表示します。

管理画面【現場密度】

現場密度測定試験(置換法)

※サポート サンプルデータ

現場代理人 樋口 一葉 印

測定者 印

$$\frac{(\text{湿潤土} + \text{容器の質量}) - \text{DW} (\text{乾燥土} + \text{容器の質量})}{\text{DW} (\text{乾燥土} + \text{容器の質量}) - \text{TW} (\text{容器の質量})} \times 100$$

スクロール

2) 新しいシートに、以下のデータを入力します。

位置	NO.4
ρ_{dmax} (最大乾燥密度)	1.835 ※

※「 ρ_{dmax} (最大乾燥密度)」は、測定位置「NO.2」で入力したものが反映されます。

【試料 No.01】

WW 測定日時試験名 及び試料番号		含水比の測定			
日付	2011/11/10	容器番号	01	WW	1835
試料番号	01	DW	1745	TW	780
試験名	現場密度試験				

湿潤土質量 Wws		穴の容積 TV	
湿潤土と容器の質量	3466	試験用砂の密度	1.341
容器の質量	1196	ロートを満たす砂の質量	1322
		測定器に砂を満たした質量	8382
		測定器と残った砂の質量	5511

【試料 No.02】

WW 測定日時試験名 及び試料番号		含水比の測定			
日付	2011/11/10	容器番号	02	WW	1805
試料番号	02	DW	1728	TW	780
試験名	現場密度試験				

湿潤土質量 Wws		穴の容積 TV	
湿潤土と容器の質量	3466	試験用砂の密度	1.341
容器の質量	1213	ロートを満たす砂の質量	1322
		測定器に砂を満たした質量	7651
		測定器と残った砂の質量	4770

【試料 No.03】

WW 測定日時試験名 及び試料番号		含水比の測定			
日付	2011/11/10	容器番号	03	WW	1850
試料番号	03	DW	1760	TW	780
試験名	現場密度試験				

湿潤土質量 Wws		穴の容積 TV	
湿潤土と容器の質量	3462	試験用砂の密度	1.341
容器の質量	1209	ロートを満たす砂の質量	1322
		測定器に砂を満たした質量	6961
		測定器と残った砂の質量	4093

WW測定日時試験名 及び試料番号	含水比の測定				含水比 %	密度の測定	密度 g/cm ³	備考
11月10日 試料No. 01 現場密度試験	容器番号	01	WW	1835	9.3	湿潤土質量 Wws	ρ_t	締固度
						2270	1.965	98.0%
	DW	1745	TW	780		穴の容積 TV	ρ_d	
	Ww	90	Ws	985		1155	1.798	
11月10日 試料No. 02 現場密度試験	容器番号	02	WW	1805	8.1	湿潤土質量 Wws	ρ_t	締固度
						2253	1.937	97.7%
	DW	1728	TW	780		穴の容積 TV	ρ_d	
	Ww	77	Ws	948		1163	1.782	
11月10日 試料No. 03 現場密度試験	容器番号	03	WW	1850	9.2	湿潤土質量 Wws	ρ_t	締固度
						2253	1.954	97.5%
	DW	1760	TW	780		穴の容積 TV	ρ_d	
	Ww	90	Ws	980		1153	1.789	
平 均					8.9	平 均	ρ_t 1.952 ρ_d 1.793	97.7%

11 測定位置「NO.6」の測定結果を入力します

新しいシートに、以下のデータを入力します。

位置	NO.6
ρ_{dmax} (最大乾燥密度)	1.835

【試料 No.01】

WW 測定日時試験名 及び試料番号		含水比の測定			
日付	2011/11/10	容器番号	01	WW	1835
試料番号	01	DW	1745	TW	780
試験名	現場密度試験				

湿潤土質量 Wws		穴の容積 TV			
湿潤土と容器の質量	3410	試験用砂の密度		1.341	
容器の質量	1190	ロートを満たす砂の質量		1322	
		測定器に砂を満たした質量		8355	
		測定器と残った砂の質量		5522	

【試料 No.02】

WW 測定日時試験名 及び試料番号		含水比の測定			
日付	2011/11/10	容器番号	02	WW	1805
試料 No.	02	DW	1728	TW	780
試験名	現場密度試験				

湿潤土質量 Wws		穴の容積 TV			
湿潤土と容器の質量	3493	試験用砂の密度		1.341	
容器の質量	1213	ロートを満たす砂の質量		1322	
		測定器に砂を満たした質量		7655	
		測定器と残った砂の質量		4760	

【試料 No.03】

WW 測定日時試験名 及び試料番号		含水比の測定			
日付	2011/11/10	容器番号	03	WW	1850
試料番号	03	DW	1760	TW	780
試験名	現場密度試験				

湿潤土質量 Wws		穴の容積 TV	
湿潤土と容器の質量	3476	試験用砂の密度	1.341
容器の質量	1209	ロートを満たす砂の質量	1322
		測定器に砂を満たした質量	6961
		測定器と残った砂の質量	4090

WW測定日時試験 名及び試料番号	含水比の測定				含水比 %	密度の測定	密度 g/cm ³	備考
11月10日 試料No. 01 現場密度試験	容器番号	01	WW	1835	9.3	湿潤土質量 Wws	ρ_t	締固度 98.2%
						2220	1.970	
	DW	1745	TW	780		穴の容積 TV	ρ_d	
	Ww	90	Ws	985		1127	1.802	
11月10日 試料No. 02 現場密度試験	容器番号	02	WW	1805	8.1	湿潤土質量 Wws	ρ_t	締固度 98.0%
						2280	1.944	
	DW	1728	TW	780		穴の容積 TV	ρ_d	
	Ww	77	Ws	948		1173	1.798	
11月10日 試料No. 03 現場密度試験	容器番号	03	WW	1850	9.2	湿潤土質量 Wws	ρ_t	締固度 98.0%
						2287	1.963	
	DW	1760	TW	780		穴の容積 TV	ρ_d	
	Ww	90	Ws	980		1155	1.798	
平		均			8.9	平 均	ρ_t 1.959 ρ_d 1.799	98.1%



こんなときは

⇒「写真情報データベースに登録した写真を閲覧する場合」(44 ページ)

以上で「第3章 データ入力」は終了です。

引き続き「第4章 帳票の編集」にお進みください。

第4章

帳票の編集

グラフや帳票のレイアウトを編集します。

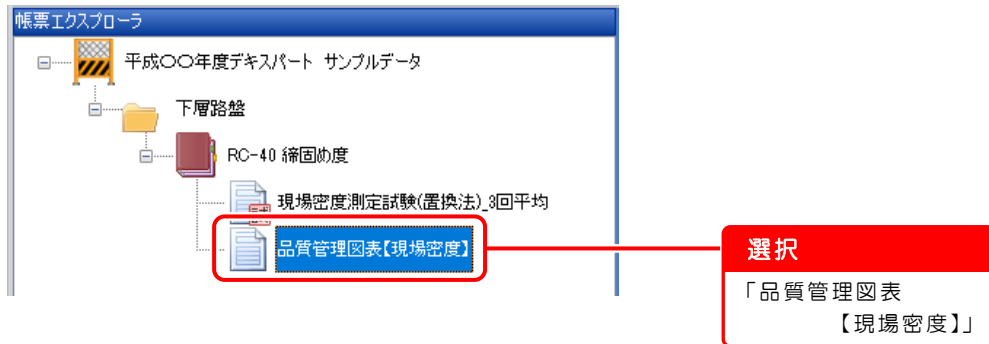
4-1	グラフの編集	31
4-2	帳票レイアウトの編集	35

4-1 グラフの編集

グラフの種類・線色・線幅・設計値の表示位置を編集します。

1 「管理図表」のグラフを編集します

「品質管理図表【現場密度】」を表示します。



2 グラフの種類を確認します

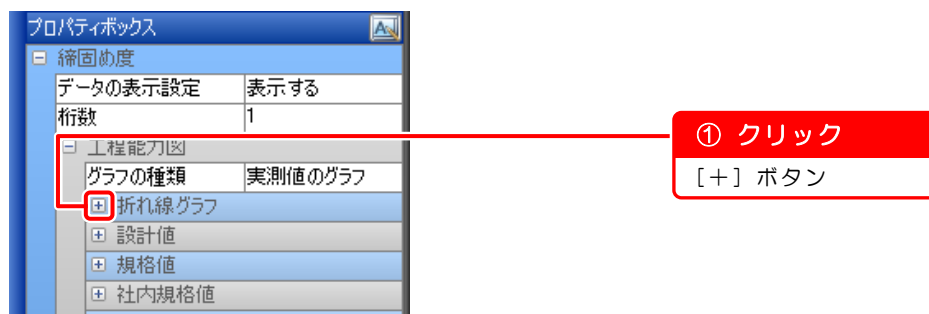
1) プロパティボックスで、グラフの種類を確認します。



3 グラフの線色・線幅を編集します

1) 折れ線グラフの線色を「赤色」に変更します。

[折れ線グラフ] 欄の左にある [+] ボタンをクリックします。



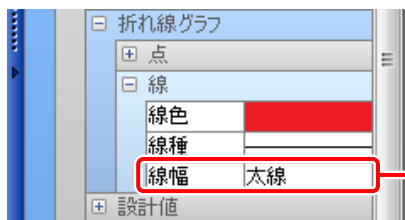
2) [線] 欄の左にある [+] ボタンをクリックし、詳細を設定します。



3) リストから [赤色] を選択します。



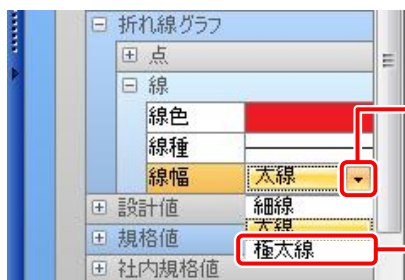
4) 折れ線グラフの線幅を「極太線」に変更します。



⑥ クリック

[線幅] 欄

5) リストから「極太線」を選択します。



⑦ クリック

[▼] ボタン

⑧ 選択

[極太線]

4 設計値の表示位置を編集します

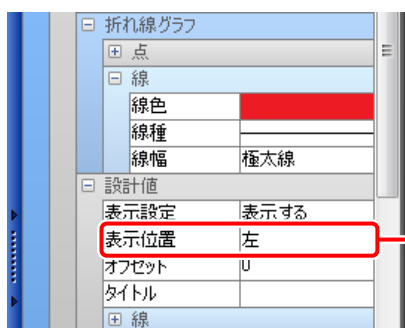
1) [設計値] 欄の左にある [+] ボタンをクリックします。



① クリック

[+] ボタン

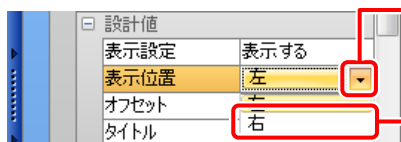
2) 設計値の表示位置を「右」に変更します。



② クリック

[表示位置] 欄

3) リストから「右」を選択します。



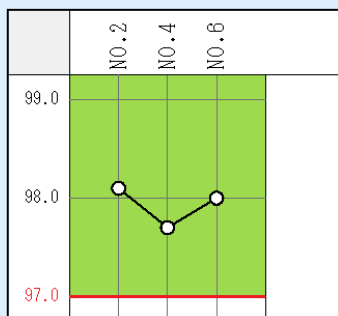
③ クリック

[▼] ボタン

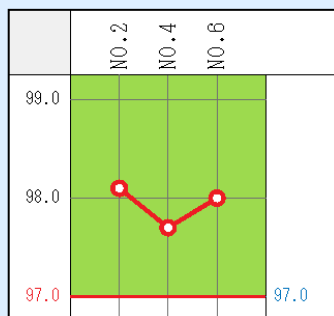
④ 選択

[右]

変更前



変更後

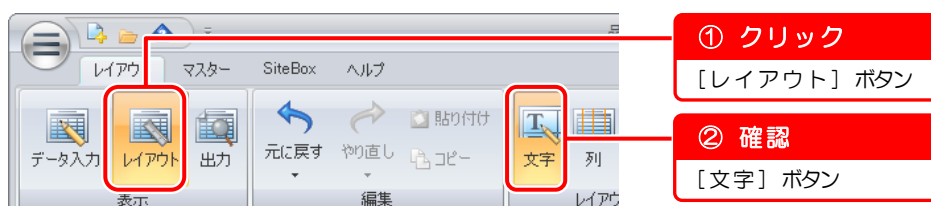


4-2 帳票レイアウトの編集

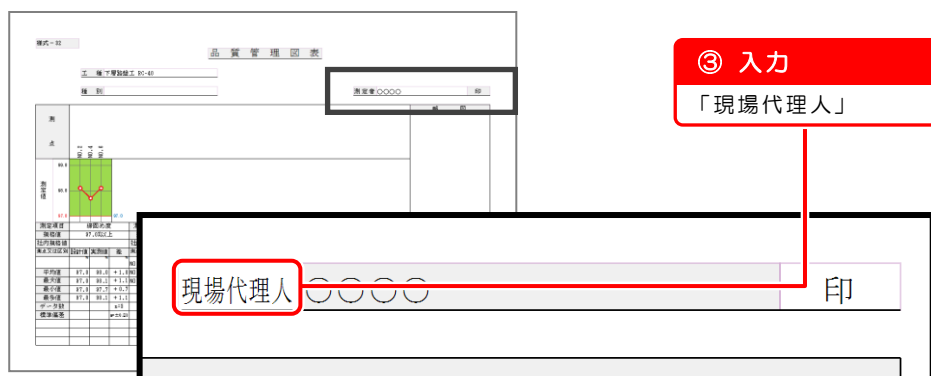
帳票のレイアウトを編集します。

1 「測定者」欄を編集します

1) 「レイアウト」ボタンをクリックします。

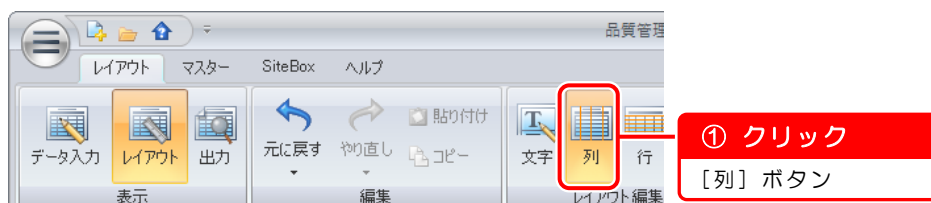


2) 「測定者」欄を「現場代理人」欄に変更します。

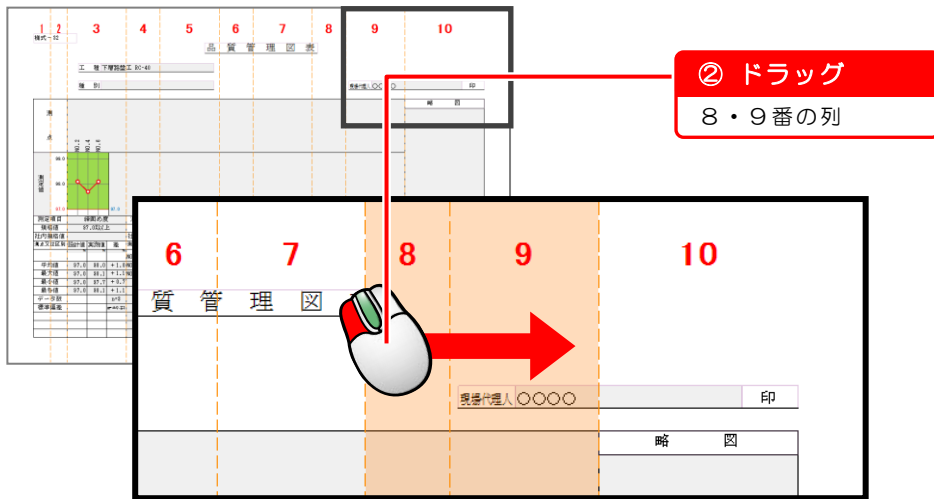


2 未使用の列を非表示にします

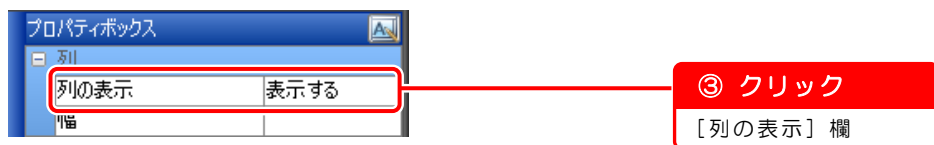
1) 「列」ボタンをクリックします。



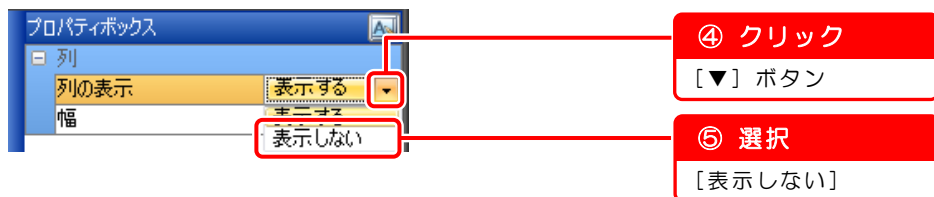
- 2) 帳票の上側に番号が表示されます。
非表示にする8・9番の列を選択します。



- 3) プロパティボックスで、列の表示を「表示しない」に変更します。

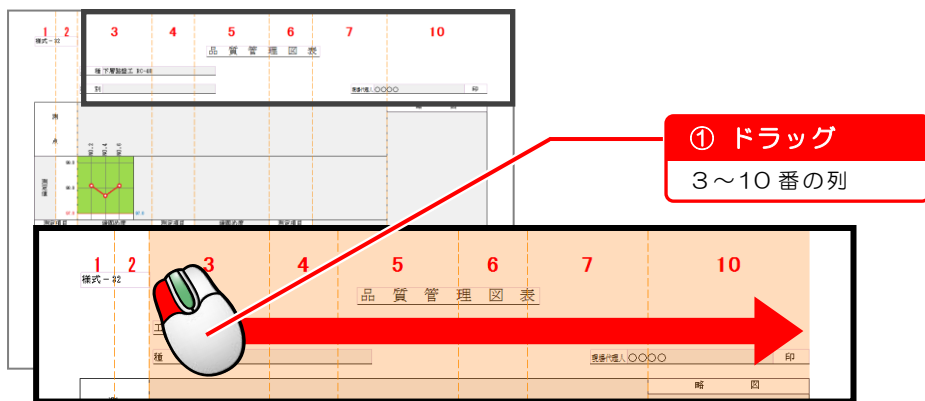


- 4) リストから「表示しない」を選択します。

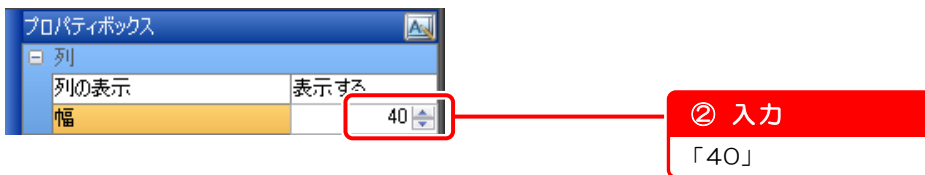


3 列幅を均等にします

1) 3~10 番の列を選択します。



2) プロパティボックスで、幅の数値を 40mm に変更します。



变更前

[illegible]

変更後

测定值												
	测定项目			测定范围			测定项目			测定范围		
	测值值			97.0以上			测值值			97.0以上		
	统计标准值			统计标准值			统计标准值			统计标准值		
	测定误差范围			统计值 实际值 差			测定误差范围			统计值 实际值 差		
	平均值			97.0 98.0 +1.0 98.4			平均值			97.0 97.7 +0.7		
	最大值			97.0 98.1 +1.1 98.6			最大值			97.0 98.1 +1.1		

以上で「第4章 帳票の編集」は終了です。
引き続き「第5章 保存」にお進みください

第5章

保存

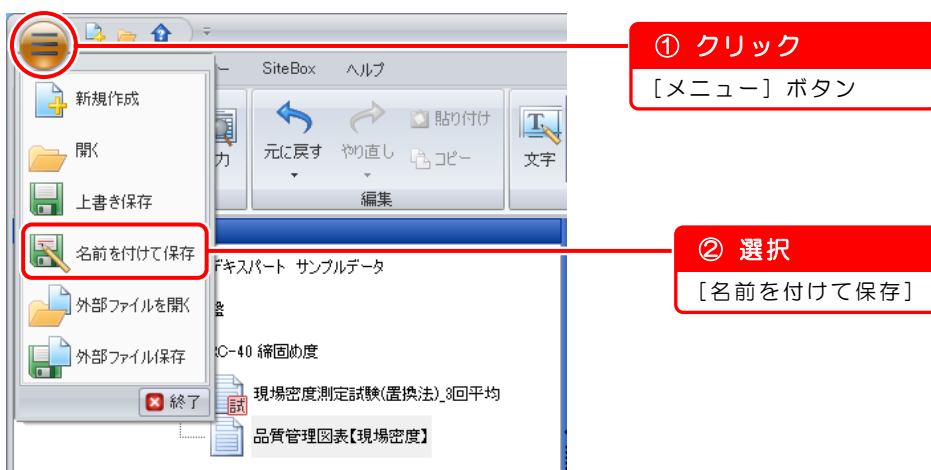
データを保存します。

保存

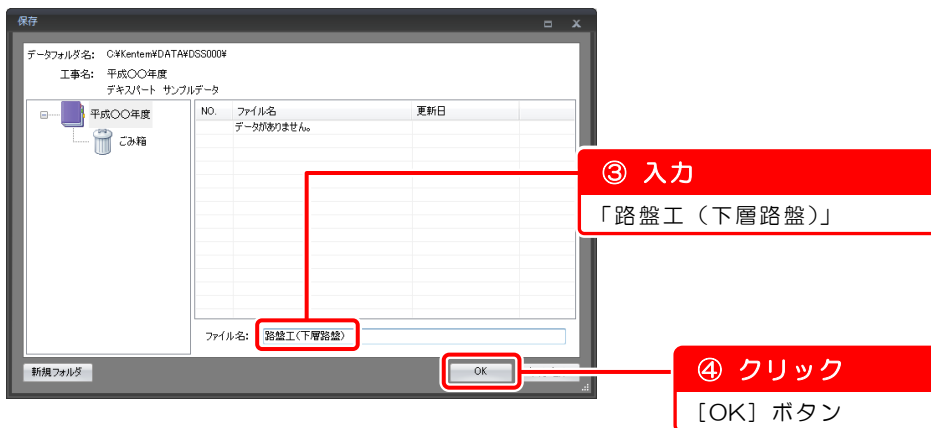
作成したデータを保存します。

帳票ブックを保存します

1) 名前を付けて保存します。



2) ファイル名を入力します。



こんなときは

⇒「作成した帳票ブックをユーザーテンプレートとして保存する場合」
(46 ページ)

以上で「第5章 保存」は終了です。

引き続き「第6章 出力」にお進みください。

第6章

出力

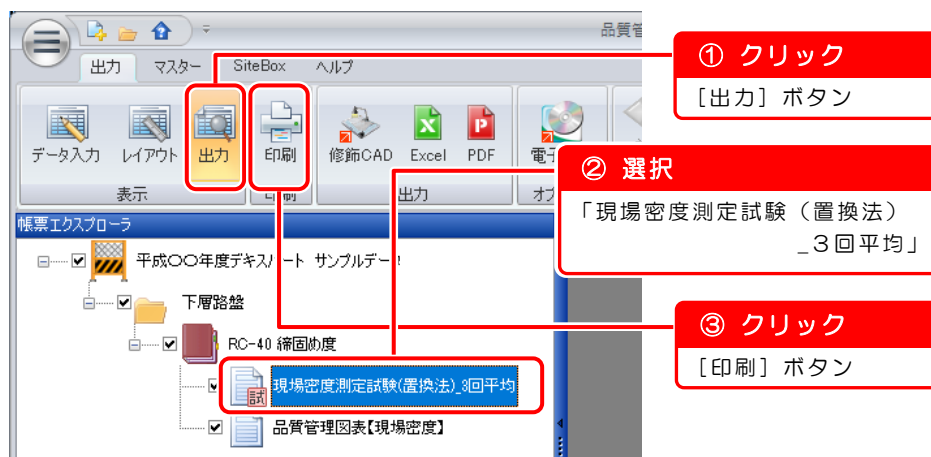
データを出力します。

出力

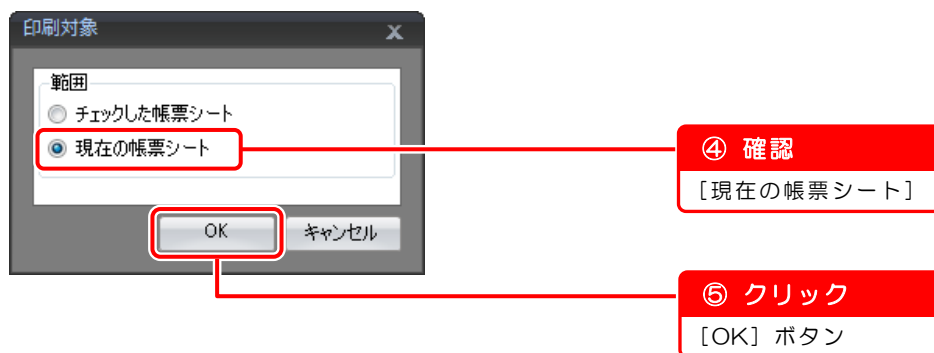
印刷する帳票を選択し、印刷します。

印刷する帳票を選択し、印刷します

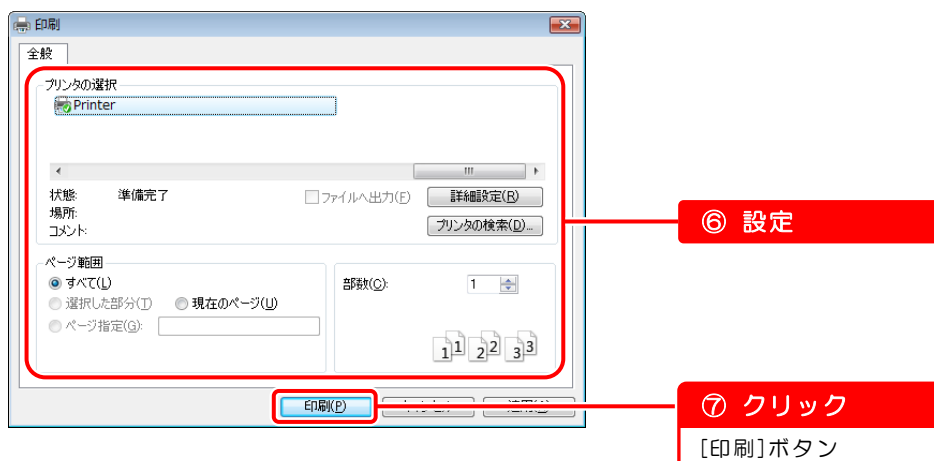
- 1) [出力] ボタンをクリックし、印刷する帳票を選択します。
ここでは「現場密度測定試験（置換法）_3回平均」を印刷します。



- 2) 印刷対象画面が表示されるので、[現在の帳票シート] が選択されている事を確認し、[OK] ボタンをクリックします。



3) 印刷画面が表示されるので、プリンタ・ページ範囲・部数などを設定し、[印刷] ボタンをクリックします。



出力可能なファイルについて

以下のファイル形式でも出力できます。



・・・『修飾 CAD』へ転送します。



・・・「Excel」形式で保存します。



・・・「PDF」形式で保存します。

※ケンテム PDF、Adobe Acrobat (Standard または、Professional) がインストールされている場合のみ利用できます。



こんなときは

⇒ 「『電子納品支援システム』にデータを転送する場合」(48 ページ)

以上で「品質管理システム 基本操作マニュアル」は終了です。
その他の機能については「ヘルプ」をご覧ください。

第7章

補足集

基本操作マニュアルの流れの中での「こんなときは」をまとめました。

-
- 写真情報データベースに登録した写真を
閲覧する場合 44
 - 作成した帳票ブックをユーザーテンプレ
ートとして保存する場合 46
 - 『電子納品支援システム』にデータを転
送する場合 48

こんなときは

困った時の操作や説明のヒントをまとめました。

💡 こんなときは

■写真情報データベースに登録した写真を閲覧する場合

(該当箇所 ⇒ 28 ページ)

弊社ソフトウェア『写管屋』の写真情報データベースに写真が登録されている場合に利用できる機能です。

1) [データ入力] ボタンをクリックし、帳票シートを選択します。

① クリック
[データ入力] ボタン

② 選択
帳票シート

2) [写真閲覧] ボタンをクリックすると、画面右に写真閲覧ボックスが表示されるので、[関連付け] ボタンをクリックします。

③ クリック
[写真閲覧] ボタン

④ クリック
[関連付け] ボタン

3) 写真関連付け画面が表示されます。

写真を選択し、[関連付け] ボタンをクリックします。



4) 写真閲覧ボックスに選択した写真が取り込まれます。

写真閲覧ボックスとプロパティボックスの境目にカーソルを合わせると、カーソルの形が変わります。

クリックすると、選択した写真が拡大表示されます。

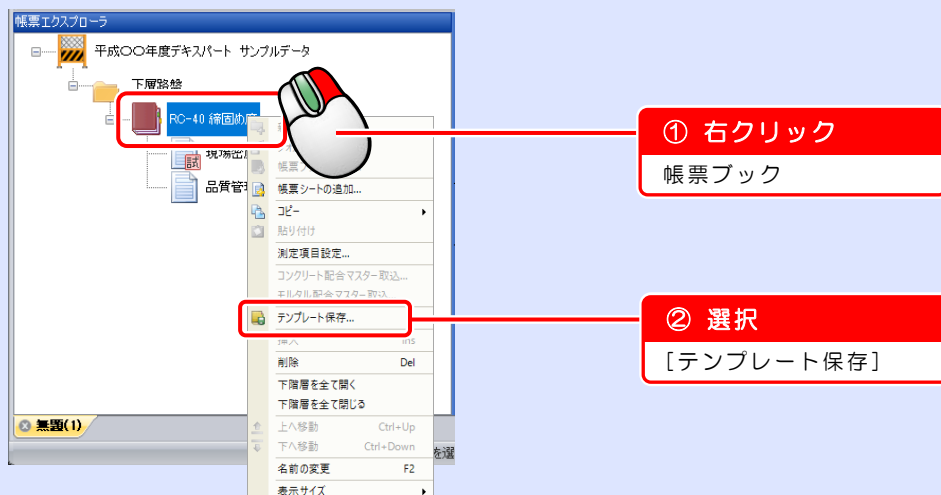


以上で「写真情報データベースに登録した写真を閲覧する場合」は終了です。
28 ページへお戻りください。

■作成した帳票ブックをユーザーテンプレートとして保存する場合

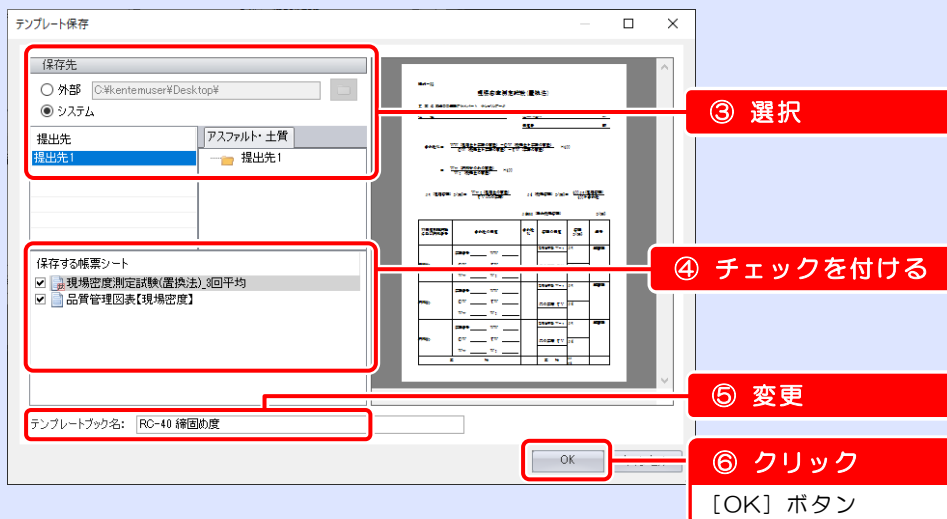
(該当箇所 ⇒ 39 ページ)

- 1) 帳票ブックの上で右クリックし、表示されるメニューから「テンプレート保存」を選択します。



- 2) テンプレート保存画面が表示されます。

保存先・保存する帳票シートを選択し、テンプレートブック名を変更します。



保存したテンプレートを使用する場合

【保存先を「システム」にした場合】

テンプレートの種類から「ユーザーテンプレート」を選択すると表示されます。

帳票ブックの追加

テンプレートの種類: ユーザーテンプレート

提出先: 提出先1

年度: 2018年度

コンクリート | トンネル | アスファルト・土質

RC-40 締固め度

【保存先を「外部」にした場合】

テンプレートの種類から「ユーザーテンプレート」を選択します。

画面左下の「外部ファイル取込」ボタンをクリックし、ファイルを取り込みます。

帳票ブックの追加

テンプレートの種類: ユーザーテンプレート

提出先: 提出先1

年度: 2018年度

コンクリート | トンネル | アスファルト・土質

RC-40 締固め度

帳票シート | 帳票バージョン

現場密度測定試験(置換法) 3回平... 1.00.01

品質管理図表【現場密度】 1.00.00

外部ファイル取込

SiteBox 取込 OK

以上で「作成した帳票ブックをユーザーテンプレートとして保存する場合」は終了です。

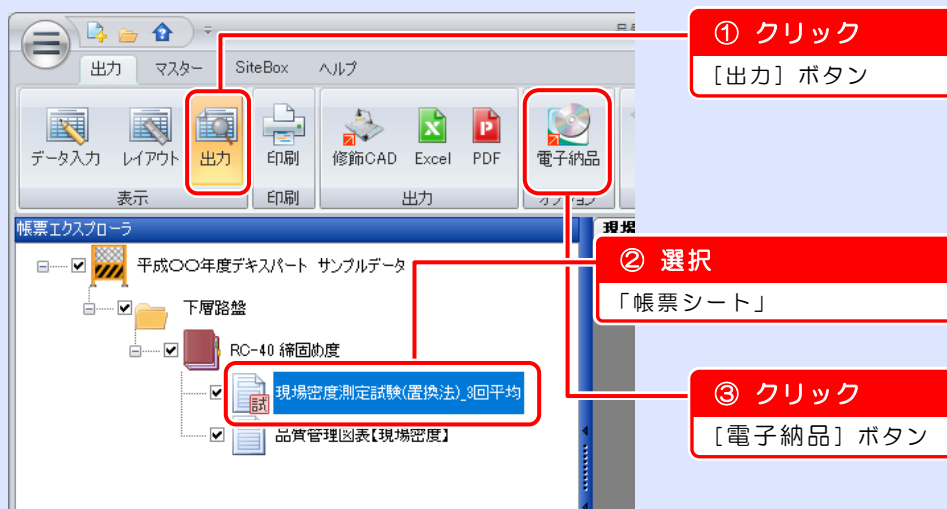
39 ページへお戻りください。

■『電子納品支援システム』にデータを転送する場合

(該当箇所 ⇒ 42 ページ)

弊社ソフトウェア『電子納品支援システム〔土木版〕』に、バインダが作成されている場合に利用できる機能です。

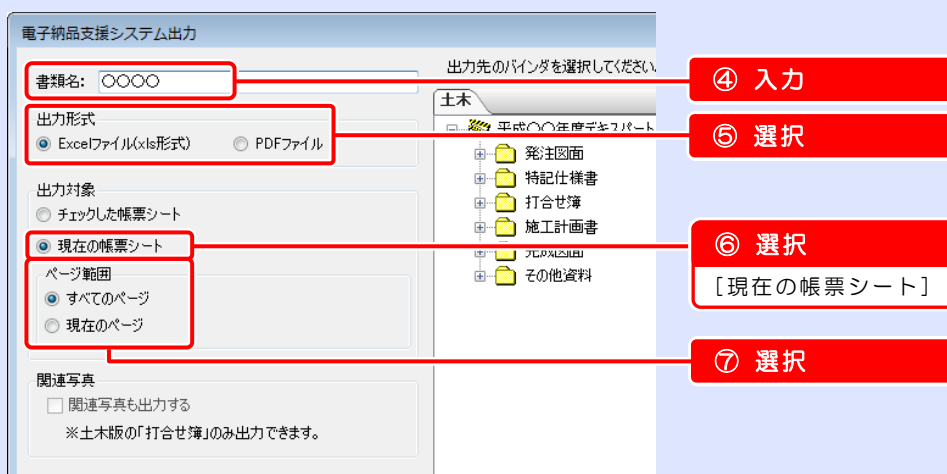
1) [出力] ボタンをクリックし、転送する帳票シートを選択します。



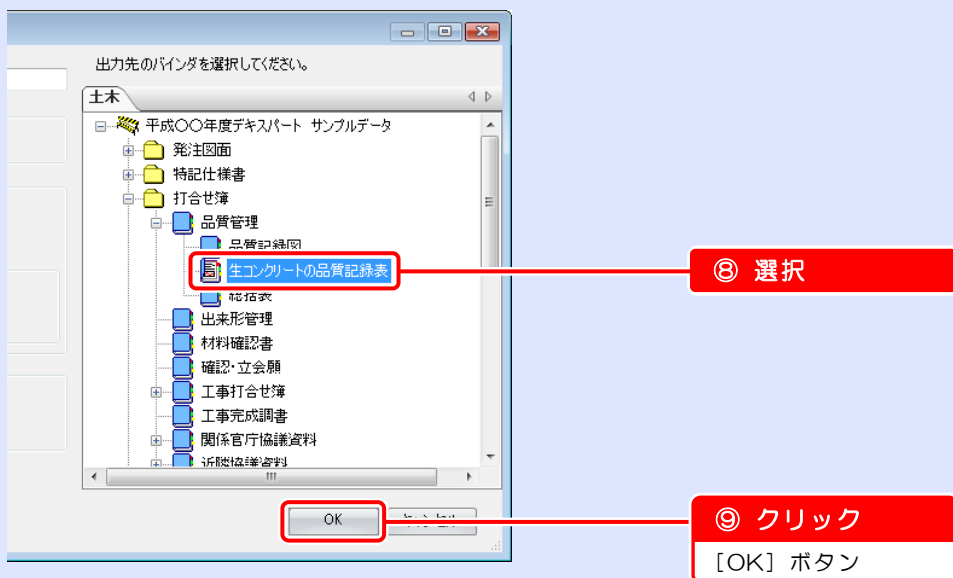
2) 電子納品支援システム出力画面が表示されます。

書類名を入力し、出力するファイル形式などを設定します。

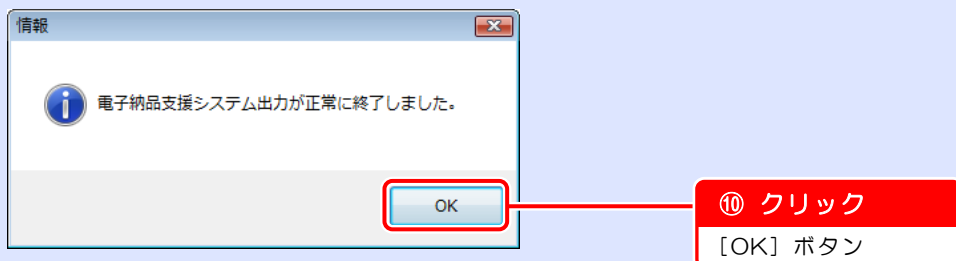
※出力形式を PDF ファイルにするには、ケンテム PDF、Adobe Acrobat (Standard または、Professional) がインストールされている必要があります。



3) 出力先のバイндаを選択します。



4) 情報メッセージが表示されます。



以上で『電子納品支援システム』にデータを転送する場合』は終了です。
42 ページへお戻りください。

? ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDFマニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにある
ショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

KENTEM サポート

DEKISPART
デキスパート®

品質管理システム [アスファルト・土質] 基本操作マニュアル

2024 年 2 月 20 日 (149-1)

発行所 株式会社 建設システム
〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1
TEL 0570-200-787